発表準備から発表までの運営方法

: 運営照明・計時
 ● : 計時タイミング
 : 運営アナウンス
 : 発表者・補助者

3分以内

3分以上5分以内

5分以上の場合

準備時間
計測開始

アナウンス「発表順位〇番の学校は発表準備を始めてください。」●

照明 OFF

2分 1鈴

黒画面にする
発表者
「発表準備ができました」●

3分 2鈴

準備時間
計測終了

照明
ON

黒画面にする
発表者
「発表準備ができました」●

準備時間
計測終了

照明
ON

5分経過 乱鈴

準備時間
計測終了

アナウンス
「発表準備を終了してください。」

黒画面にする

照明ON

発表者はステージ中央へ

1分計時
計測開始

※発表者が中央へ移動したら、
アナウンス「発表順位〇番『〇〇』と題しまして〇〇さん(代表者)
他〇名の発表です。」●

発表者・補助者 礼

照明 OFF

1分計時
終了
発表時間
計測開始

発表者の第一声
または
スクリーン上への上映・演示開始
※マウスポインタは計測の対象としません。

1分経過しても発表が始まらない場合

アナウンス
「1分が経過しました計時を開始します。」●

発表時間
計測終了

「演示の終了かつ
発表者の終わりを告げるまで」●

8分 1鈴 10分 2鈴

照明 ON

発表終了から質疑応答までの運営方法

□ : 運営照明・計時 ● : 計時タイミング □ : 運営アナウンス □ : 発表者・補助者

発表時間
計測終了

「演示の終了かつ
発表者の終わりを告げるまで」 ● 8分1鈴 10分2鈴

照明 ON

発表者はステージ中央へ

発表者・補助者 礼

質疑応答
準備

※発表者の礼の後

アナウンス「ただいまの発表時間は○分○秒でした。繰り返します。
ただいまの発表時間は○分○秒でした。質疑応答者は演題へ移動してく
ださい。それ以外の方は降壇してください。」

質疑応答者: 演題へ移動 補助者・発表者: 降壇し片づけを行う

質疑応答

アナウンス「これより質疑応答を行います。審査員の先生お願いします」

審査員質問

質疑応答者 応答

終了

アナウンス「以上で質疑応答を終了します。ありがとうございました。
降壇してください。」

質疑応答者 降壇

トラブル発生時の運営方法

■ : 運営照明・計時 ● : 計時タイミング ■ : 運営アナウンス □ : 発表者・補助者

発表時間
計測終了

発表者 または 補助者による意思表示
「計時を中断してください」「トラブル発生」など

計測 B 計時を中断(中断時刻を記録)
計測 C 計測を続行

アナウンス

「ただいま計時中断の合図がありました。計時を中断いたします。当番校の先生は、確認をお願いします。連盟事務局の先生方は進行席までお願いします。発表者・補助者の皆様はその場でお待ちください。」

原因の確認(連盟事務局 当番校担当)

当番校 トラブル

分野審査長に報告

当番校担当教諭による会場報告

「ただいまの計時中断を受け、原因について確認したところ、当番校のトラブルであることを確認いたしました。本大会のトラブル対応にもとづき、発表順位〇番、〇〇高校の発表は再発表と致します。」

当番校担当教諭による会場報告(再発表①)

「再発表は、発表者・補助者の準備ができ次第、アナウンスを再開します。」

当番校担当教諭による会場報告(再発表②)

「再発表は、予定されております最後の発表後に発表いたします。」

当番校の原因となるトラブル要素
(参考例として)

・マイク音声不能、液晶プロジェクターのトラブル、発表者以外による電源コードの引き抜き、当番校準備機器の故障、停電など(地震等の災害についてもこちらに該当)

発表者 トラブル

分野審査長に報告

発表者へトラブルの原因を伝え
発表を再開してもらう

発表 再開

計測C 計測を続行
(再開時間を記録)

計測Cにより
8分1鈴
10分2鈴
12分超過時 乱鈴(打ち切り)

発表中止と判断された場合は、発表した部分までを審査する。

発表者の原因となるトラブル要素
(参考例として)

・パソコンのフリーズ、レーザーポインター等持込機器の故障、発表者側による電源コードの引き抜きなど。